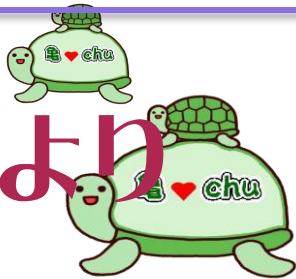


令和8年4月22日発行



# 亀戸中だより



亀中ホームページ  
クリック



本校教育目標 「思いやりの心を持ち、主体的に行動できる人間を育成する」  
「探究」「敬愛」「挑戦」

## 始業式講話「心を磨く一年にしましょう」

生活指導主任 山本 拓

今年度もよろしくお願ひします。新しく来た先生方には、亀戸中って素晴らしいと思ってもらいたいですよね。新しい先生方に亀中の生徒のことを紹介するとしたら、私がパッと出るのは2つです。「とにかく行事に熱く、一生懸命」「伸び伸びして元気が良い」私の感覚ではこの2つです。「行事に一生懸命」これは最高です。ひたむきに頑張ることは格好良いという感覚をもっている証です。「伸び伸びして元気が良い」は学校生活を前向きに、皆さんが主役で過ごせている証だと思います。



今日は皆さんの現状について、3つの文字に当てはめて考えてみます。「心・技・体」です。スポーツや武道の世界でもよく使われるような言葉で、成功や成長を達成するために必要な要素と言われています。少し解説するなら、「心は精神力」「技は技術」「体は体力（健康な体）」です。どれも大切ですが、特に亀戸中の皆さんには「心：精神力」を磨く一年にしてほしいと思います。今年は「心」です。「心」を磨きましょう。「心」を磨く方法を幾つか紹介します。「人に優しくする」「きまりやルールを守る」「一生懸命掃除をする」「委員会や係の役割、クラスでの給食当番など、自分の役割を果たす」「身だしなみを整える」「整理整頓をする」「何か努力を続ける」「注意や失敗を受け入れる」これらのことができる人は、心がどんどん育っていきます。もちろん他にもあると思いますが、今紹介したようなことは、学校生活で日常的に訪れてきます。

「相手と関わる時間」「自分以外の人も楽しく、安全に過ごすためにきまりを守ること」「たまに順番が回ってくる掃除当番や給食当番」「日々プリントが配られて溜まっていく中で机の中やロッカーの整理整頓、下駄箱の上の荷物の整理整頓」「シャツ出しや上履きのかかとを踏んでいることを注意されてしまったと

き」など、この学校生活の日常こそが「心：精神力」を磨くチャンスです。

「心」を磨くチャンスが学校生活には溢れています。これこそが学校に来るべき理由、学校が素晴らしい場所である理由だと思います。実は「技」や「体」は「心」という土台があってこそ力を発揮できるものです。

「技」が学力、テストの点数だとしたら、それぞれが少しずつ成長できれば十分です。一生懸命やっても「技」の習得には、人それぞれ必要な時間が違います。だから勉強は、向き合う気持ちがあれば良いと思います。ただ、そこに向かう「心」、「苦手なことや辛いことにも向き合う心」を先生たちは、他の人たちは、社会はみえています。「失敗してしまったときに嘘をついたりごまかしたりしない心」に次への期待を込めて支えたいと思います。

学年の先生達、担任の先生達はクラスの一覧表を見たときに、どんな人がいるかを見ます。勉強が得意な人、足が速い人、歌が上手い人、力が強い人、面白い人、を頼りにしているわけではないです。

「心」を磨こうとしている人を頼りにしています。

苦手なことがあっても、頑張ろうとするその「心」に期待します。話を聞き、受け入れようとする「素直な心」を応援します。人に優しくできる「心」が何よりも嬉しく、助けられる気持ちになります。そういう人を求めています。タイムや点数では測ることのできない人間としての土台、「心の力」を大切にしたいです。ただ、どんなに頑張ろうとしても、「心」が乱れそうなきときはあります。そういう時には先生たちが注意したり、教えたりします。

教えてくれる存在がいるのも学校が素晴らしい場所である理由だと思います。だから明日からも学校に来て、何気ない日々で「心」を育てていきましょう。

この一年間一緒に、とことん「心」を育てていきましょう。以上、「心」という言葉をたくさん言いました。これだけ言えば意識してもらえますかね。ということで、4月の生活目標は、「心を磨く1年のスタートとして、行動に表す1ヶ月にしよう」です。まずは1ヶ月意識し続けてください。1ヶ月できれば定着し始めるはずですよ。

